

担当講座	緩和医療学科	問合せ先	緩和医療学科
分野責任者	木村 祐輔 特任教授	連絡先	内線 2013
担当教員	木村 祐輔 特任教授 鴻巣 正史 講師		
人材育成の 基本理念	がん治療が高度に進歩し複雑化する中で、実際に治療を受ける患者やその家族が抱える、身体的、心理社会的、あるいはスピリチュアルな諸問題に対応する、全人的な支援体制の構築が求められている。本講座では、これらの諸問題に適切に対応しうる緩和ケアに精通した指導的医療人育成を目標とする。		
主な研究内容	がん治療を支援する緩和ケアに求められるものは、患者・家族あるいは地域によって様々であり、十分な支援を行うためには、多くの専門職からなるチーム医療による対応が不可欠である。本講座では、緩和ケアを含めた、がん治療全般に対する知識、技術、ならびに地域医療連携についてチーム医療の重要性とともに、チームの一員としての各専門医療分野の役割について修得し、各種認定資格（がん治療認定医、緩和薬物療法認定薬剤師等）の取得を学術的に支援する。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	がんの基礎科学ならびに疾患毎の治療法の概要を理解し、緩和ケアについての高度な知識・技術を獲得するとともに、実践的演習を通じて、チーム医療を構成する各職種専門性を理解し、適切なコミュニケーション、情報の共有、およびチームマネジメントの手法を身につけることで、包括的がん医療における各専門医療者としての役割を果たすことができるようになる。	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8	
達成目標	達成目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる	ベーシックセミナー	
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。	研究方法論	
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(4)解析結果ををまとめ、発表できる（英文が望ましい）	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。	特別研究ⅠⅡⅢ	
	(6)次世代の人材育成に貢献できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、大学院セミナー	
	(7)緩和ケアについて、その理念、目的、意義について説明できるようになる。	緩和ケア実践実習、緩和ケアセミナー1～3、緩和ケア研究修練1・2	
	(8)全人的な“痛み”を理解し、その評価方法を実践できるようになる。	緩和ケア実践実習、緩和ケアセミナー1～3、緩和ケア研究修練1・2	
	(9)患者および家族とのコミュニケーション方法を習得し実践できるようになる。	緩和ケア実践実習、緩和ケアセミナー1～3、緩和ケア研究修練1・2	
	(10)がん性疼痛（体性痛、内臓痛、神経障害性疼痛）の機序を理解し、対応方法を説明できるようになる。	緩和ケア実践実習、緩和ケアセミナー1～3、緩和ケア研究修練1・2	
	(11)がん治療経中に出現する多彩な症状（呼吸困難、倦怠感、嘔気、浮腫など）の機序とそれぞれの対応方法を説明できるようになる。	緩和ケア実践実習、緩和ケアセミナー1～3、緩和ケア研究修練1・2	
	(12)がん治療経過中に出現する精神的ストレス、不安、抑うつに対する診断、対応方法を説明できるようになる。	緩和ケア実践実習、緩和ケアセミナー1～3、緩和ケア研究修練1・2	
	(13)遺族ケアの実際を理解し実践できるようになる。	緩和ケア実践実習、緩和ケアセミナー1～3、緩和ケア研究修練1・2	
	(14)がん治療に関わる多職種(医師、看護師、薬剤師、MSW、臨床心理士ほか)それぞれの役割について理解し、協調した活動が実践できるようになる。	緩和ケア実践実習、緩和ケアセミナー1～3、緩和ケア研究修練1・2	
(15)緩和ケアにおける地域リソースの実際を理解し、円滑な地域連携を実践できるようになる。	緩和ケア実践実習、緩和ケアセミナー1～3、緩和ケア研究修練1・2		
資格取得等	がん治療認定医、緩和医療学会専門医		
履修に関する 情報	履修申請の際には事前相談に応じる。また日程の調整に応じる（問合せ先：緩和医療学科 木村祐輔）		

## ●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特 論	必 修	1～4年 実習 緩和ケア実践実習	通年	140	9	20単位	
		1～2年 講義 緩和ケアセミナー1	通年	8	1		
		1～2年 講義 緩和ケアセミナー2	通年	8	1		
		1～2年 講義 緩和ケアセミナー3	通年	8	1		
		1～4年 演習 緩和ケア研究修練1	通年	30	4		
		1～4年 演習 緩和ケア研究修練2	通年	30	4		
特 別 研 究	必 修	2年 特別研究Ⅰ（初期審査）	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目
		3年 特別研究Ⅱ（中間審査）	通年	8	1		
		4年 特別研究Ⅲ（論文作成）	通年	15	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

緩和医療学

コード	MD14261010				MD14261020				MD14261030				MD14261040			
科目	緩和ケア実践実習				緩和ケアセミナー1				緩和ケアセミナー2				緩和ケアセミナー3			
科目責任者	木村祐輔				木村祐輔				木村祐輔				木村祐輔			
担当者	木村祐輔、鴻巣正史				木村祐輔、鴻巣正史				木村祐輔、鴻巣正史				木村祐輔、鴻巣正史			
会場	緩和ケア病棟、附属病院各病棟				緩和医療学科セミナー室				緩和医療学科セミナー室				緩和医療学科セミナー室			
区分等	区分	実習	単位	9	区分	講義	単位	1	区分	講義	単位	1	区分	講義	単位	1
	回数	通年140コマ	配当年次	1~4	回数	通年8コマ	配当年次	1~2	回数	通年8コマ	配当年次	1~2	回数	通年8コマ	配当年次	1~2
主な授業内容	臨床における緩和ケアの実践的知識・技術の修得				緩和ケアの基本的知識				緩和ケアの専門的知識				緩和ケアの発展的知識			
アウットカム	緩和ケアチームならびに緩和ケア病棟における緩和ケア実践方法を学び、全人的苦痛の緩和の基礎的知識・技術を説明し、実践できるようになる。				緩和ケアの歴史、定義の変遷を理解し、全人的ケアの意味、必要性を論じることができるようになる。				悪性腫瘍など、生命を脅かす疾患に罹患した患者とその家族の全人的苦痛を理解し、苦痛緩和の知識・方法を述べるようになる。				悪性腫瘍以外の疾患（心不全、呼吸不全、神経難病など）における患者・家族の苦悩を理解し、全人的援助とは何かについて論じることができるようになる。			
SBO	分野の達成目標 (7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)				分野の達成目標 (7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)				分野の達成目標 (7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)				分野の達成目標 (7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は1時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 講義は、担当教員とのディスカッションを基本とする。 【2021年度以降の入学学生】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学学生】講義の出欠は履修手帳で管理する。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 講義は、担当教員とのディスカッションを基本とする。 【2021年度以降の入学学生】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学学生】講義の出欠は履修手帳で管理する。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 講義は、担当教員とのディスカッションを基本とする。 【2021年度以降の入学学生】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学学生】講義の出欠は履修手帳で管理する。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 講義は、担当教員とのディスカッションを基本とする。 【2021年度以降の入学学生】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学学生】講義の出欠は履修手帳で管理する。			
評価方法	【2021年度以降の入学学生】担当教員とのディスカッション内容を踏まえ、「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学学生】担当教員とのディスカッション内容を踏まえ、出席、レポートなどにより総合的に評価する。															
講義日程	時間割参照															
教科書 参考書																

コード	MD14261050				MD14261060				MD14269010				MD14269020			
科目	緩和ケア研究修練1				緩和ケア研究修練2				特別研究I				特別研究II			
科目責任者	木村祐輔				木村祐輔				各(正)指導教員				各(正)指導教員			
担当者	木村祐輔、鴻巣正史				木村祐輔、鴻巣正史				各指導教員				各指導教員			
会場	緩和医療学科セミナー室				緩和医療学科セミナー室				各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定			
区分等	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	1
	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年8コマ	配当年次	2	回数	通年8コマ	配当年次	3
主な授業内容	緩和ケアに関する研究の基本的知識				緩和ケアに関する研究の専門的知識				・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・初期審査の準備				・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査の準備			
アウットカム	緩和ケアに関する論文により、悪性腫瘍の進行によりもたらされる、様々な疼痛の発生機序を学び、苦痛緩和の基本的な知識を説明できるようになる。				緩和ケアに関する論文により、悪性腫瘍の進行によりもたらされる、様々な身体的苦痛、精神的苦痛、スピリチュアルペインの発生背景、機序を学び、苦痛緩和の専門的な知識を説明できるようになる。				生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 ＜初期審査＞2年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、現在の至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 ＜中間審査＞3年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在の至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。			
SBO	分野の達成目標 (7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)				分野の達成目標 (7)(8)(9)(10)(11)(12)(13)(14)(15)				分野の達成目標 (3)(4)(5)(6)				分野の達成目標 (3)(4)(5)(6)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 講義は、担当教員とのディスカッションを基本とする。 【2021年度以降の入学学生】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学学生】講義の出欠は履修手帳で管理する。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 講義は、担当教員とのディスカッションを基本とする。 【2021年度以降の入学学生】全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学学生】講義の出欠は履修手帳で管理する。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 初期審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。			
評価方法	【2021年度以降の入学学生】担当教員とのディスカッション内容を踏まえ、「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学学生】担当教員とのディスカッション内容を踏まえ、出席、レポートなどにより総合的に評価する。															
講義日程	時間割参照															
教科書 参考書																

●各科目の授業計画

コード	MD14269030						
科目	特別研究Ⅲ						
科目責任者	各(正)指導教員						
担当者	各指導教員						
会場	各指導教員と相談の上決定						
区分等	区分	演習	単位	2			
	回数	通年15コマ	配当年次	4			
主な授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生命科学や研究手法の発展的な知識</li> <li>・論文作成</li> <li>・最終試験の準備</li> </ul>						
教育成果	<p>生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。</p> <p>&lt;論文作成&gt; 学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。</p>						
S B O 目 標 達	<p>分野の達成目標 (3)(4)(5)(6)</p>						
特記事項	<p>各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。</p>						
評価方法	<p>「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点)の4段階評価とし、ABC (60点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。</p>						
講義日程							
教科書 参考書							

## ●時間割

## 緩和医療学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20	特別研究Ⅰ～Ⅲ	緩和ケア研究修練1・2		緩和ケア研究修練1・2	緩和ケアセミナー1～3	共通教育科目
2 限	10:30~12:00	緩和ケア実践実習	緩和ケア実践実習		緩和ケア実践実習	緩和ケア実践実習	
3 限	13:00~14:30	緩和ケア実践実習	緩和ケア実践実習		緩和ケア実践実習	緩和ケア実践実習	
4 限	14:40~16:10	緩和ケア実践実習	緩和ケア実践実習		緩和ケア実践実習	緩和ケア実践実習	
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20	特別研究Ⅰ～Ⅲ	緩和ケア研究修練1・2		緩和ケア研究修練1・2	緩和ケアセミナー1～3	共通教育科目
2 限	10:30~12:00	緩和ケア実践実習	緩和ケア実践実習		緩和ケア実践実習	緩和ケア実践実習	
3 限	13:00~14:30	緩和ケア実践実習	緩和ケア実践実習		緩和ケア実践実習	緩和ケア実践実習	
4 限	14:40~16:10	緩和ケア実践実習	緩和ケア実践実習		緩和ケア実践実習	緩和ケア実践実習	
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						